

広報



かわにし

平成4年 9/10 No.409

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 9月1日現在 —

男	4,388	(-11)
女	4,469	(+6)
計	8,857	(-5)
世帯数	2,212	(-3)

() は 前 月 比 較

三十二・六メートルの ジャンボのり巻き が完成

— 8月12日 農業構造改善会館 —

町・普及所・農協では、米の消費拡大と日本型食生活を進めるため、親子料理教室を開きました。この催しはこととして四回目。今回は、上野小学校児童七十七人と父兄ら、およそ百人が参加してジャンボのり巻きづくりに挑戦しました。完成したのり巻きは、米三十キロ、のり三百枚、卵百五十個、ソーセージ五十本、キュウリ五十本、かんぴょう(乾燥)七百五十グラム、すし酢十一本を使用。長さ三十二・六メートルというものです。(休日救急医は、十一ページに掲載しました)



着実に進む 下水道整備

「木落グリーンセンター」が
運転開始

議会 報告

八月十九日、第五回町議会臨時会が開かれました。会期は一日間です。

始めに、一般会計補正予算など、専決処分した事件二件が承認されました。

次に、老人デイサービスセンター建設（本体）工事請負契約

（請負者：高橋工務店、請負金額一億一、六、七万五千円）が承認されました。

続いて、九月十五日任期満了となる教育委員北村準一さんを、引き続き任命することに同意しました。



南雲町長（左から2番目）ら関係者によって運転スイッチが入れられました

通水式が終わり、内部施設を見学する参列者



八月二十一日、木落地内で工事を進めていた集落排水処理施設「木落グリーンセンター」が完成し、関係者七十人ほどが出席して、安全作業祈願祭と通水式を実施しました。

この施設は、川西地区（仁田、野口、新町新田集落の一部）と木落川辺地区（木落、寺ヶ崎、三領、小根岸集落）四四七戸、一、九一〇人を対象に、一日平均五一六トンの汚水进行处理するというもの。川西地区においては、平成六年にはすべての排水管のつなぎ込みが完成、供用開始できる予定になっています。

完成したセンターは、農村総合整備モデル事業と農業集落排水事業で合併施行され、去年か

ら二か年継続で進められていたものです。鉄筋コンクリート造、延べ面積五七六・八平方メートル、建設費四億六、八〇〇万円、回転式の水槽で汚水を分解するオキシデーションデッチ方式を採用しています。

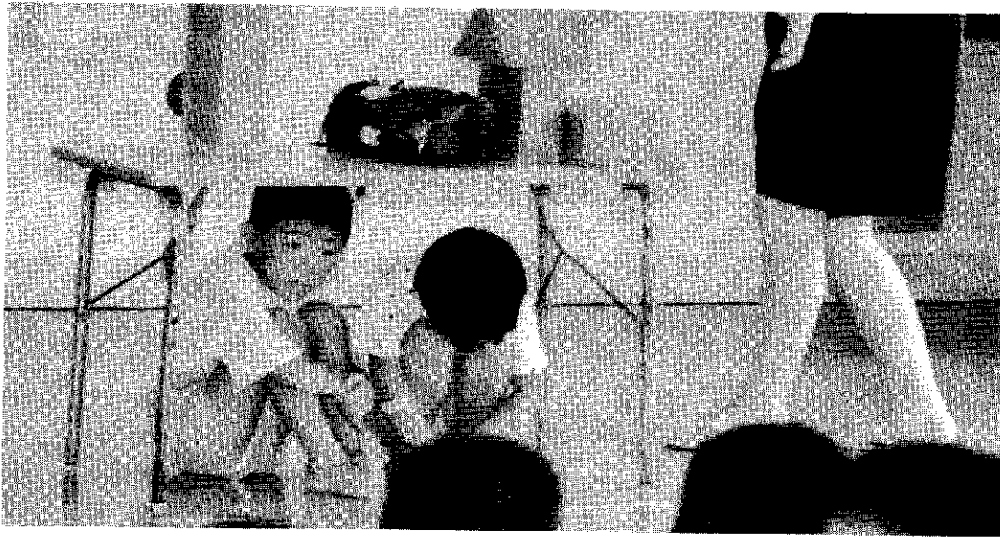
このセンターの完成に伴って、川西地区では配水管を随時つなぎ込み、木落川辺地区においてはことしから排水管工事を始めていますので、平成八年度ころには全体のつなぎ込みが完成する見込みとなっています。

町では、すでに昭和六十二年に上野地区（上野、下平新田集落）で下水道工事を実施しており、この両地区が完成すると、町の下水道普及率は三十三％となります。また、ことしから、千手地区に特定環境保全公共下水道事業を導入することや、仙田地区においても下水道整備の計画が進んでいることから、これらが完成する平成十三年ころには、町内のほぼ百分近い下水道整備率となることが期待できます。

この日は、南雲町長らが玉串を奉奠して安全作業を祈願したあと、小野原農村総合整備課長ら関係者によってセンターの運転スイッチが入れられ、無事完成を祝いました。

地震——いざというとき

落ち着いて行動できますか



仙田保育園でも初めて地震訓練をしました(8.21)

自然災害の中でも、地震は特に被害が大きく、そのうえ火事や山崩れなどの二次災害を引き起こす恐れもあります。グラツときたとき、慌てず、落ち着いて行動できるようにするには、ふだんから地震に対する心構えをしておくことが必要です。

さて、あなたはどのくらい備えができていますか。確認をしてみましょう。

「地震に対する備えは大丈夫?」

地震、雷、火事、親父……、地震は昔から怖いことの代表としてよく挙げられています。

たしかに、地震の揺れは恐ろしいもの。しかし、揺れ自体よりも恐ろしいのが二次災害です。というのも、地震の揺れが原因で、火事や山崩れなどが起きるからです。

さて、あなたは地震に対してどんな備えをしていますか。

物が上から落ちてこないようにする

震度四程度の地震でも、家具などの上に置いてある物が落ちてくる可能性があります。重い物や安定性のない物は高いところに置かないようにしましょう。

家具類が倒れないように固定する

大きな地震になると、家具の上から物が落ちるばかりか、家具そのものが倒れてくることもあります。壁や柱などに金具でしっかりと固定してください。

火事を起こさないために、消火器の準備をする

火事は初期消火が肝心です。消火器の準備や風呂の水張りを忘れないように。

「地震の心得10か条」

まず、わが身の安全を図ろう。大きな揺れは、一分程度でおさまります。テーブルや机など、丈夫な家具の下で頭を保護するようにしましょう。

素早く火の始末を

グラツときたら、必ずコンロなどの火を消すようにしましょう。

非常出口を確保する

特に、コンクリート建ての家は、振動で扉がゆがみ開かなくなる可能性があります。揺れを感じたら、窓や扉を開けるようにしましょう。

火が出たら、まず消火

出火したら消火器やバケツなどでボヤのうちに消し止めましょう。また、近所に声をかけ、協力して初期消火をしてください。慌てて外に飛び出さないように

慌てて外に飛び出すのは危険です。かわらやガラスなどが落ちてくる可能性があります。周りの状況をよく見て行動しましょう。

狭い路地や塀際、がけや川べりに近寄らないように

ブロック塀が倒れたり、地盤がゆるんで崩れやすくなったたりしています。避難するときは、このような場所には近寄らないようにしましょう。

山崩れ、がけ崩れに注意する

地震で起きる山崩れ、がけ崩れなどの二次災害は、とても恐ろしいものです。役場や警察、消防署などの注意を聞き、安全な場所に避難しましょう。

避難は徒歩で、

持ち物は最小限に

自動車を使うことは、渋滞を引き起こし、消火活動や救急救助活動の妨げになります。避難は徒歩で、荷物は必要な物だけにしてください。

みんなが協力し合って

応急救護を

災害のときは、お互いの協力をしなければなりません。軽いけがは、みんなが応急の処置をしましょう。

正しい情報をつかもう

災害で混乱をしているときは、誤った情報にまどわされやすくなります。役場や警察、消防署などの指示に従い冷静に行動しましょう。



いつでも、どこでも、だれでも

●●●いま、新しい風

町生涯学習推進大会を開催

八月二十三日、総合センター

で、生涯学習の町づくりを積極的に進めようと、第二回町生涯

学習推進大会が開かれました。

開会式では、南雲町長のあい

さつ、横尾中越教育事務所社会

教育課長・小林町議会議長の祝

辞のあと、生涯学習に関する標

語入選者の表彰がありました。

表彰された方々、作品は次のと

おりです。(敬称略)

南雲 良(寺尾)

さわやかに学ぶ幸せ輪の中に

関 周一(発電所通り東)

マナビイの仲間てひろがる

地域の輪

宮 雪枝(山野田)

学びあいみんなてわが町

再発見

また、八月一日付けて、地域

において町民の皆さんの学習活

動を奨励・援助する生涯学習奨

励員(二十人)が委嘱され、そ

の紹介がありました。奨励員は

次の方々です。(敬称略)

千手地区(六人)

渡辺 治郎(高原田)

保坂 好夫(沖立)

五十川 清(一〇)

丸山すみ子(中屋敷)

小海喜代美(神社町)

星名サチ子(伊友)

上野地区(四人)

小熊与子雄(上野)

鈴木 義一(新町新田)

高橋 アキ(上野)

小海代利子(小根岸)

橘地区(四人)

丸山 譲(下原)

大久保吉晴(野口)

高橋 サキ(仁田)

村越 由喜(野口)

仙田地区(六人)

高橋 信雄(赤谷)

星野 正五(室島)

高橋 アサ(室島)

金子ヒロ子(岩瀬)

江口 春夫(小白倉)

江口ノリ子(一〇)

「学校週五日制と心豊かな子や孫たちの育成」と題したシン

ポジウムでは、父親、母親、祖

父母、学校、行政のそれぞれの

立場の代表者が発表。家庭、地

域社会、学校が一体となって取

り組んでいかなければならない

と訴えていました。

さらに、神奈川大学教授の黒

沢惟昭さんから、「これからの

家庭のあり方」と題した記念講

演をいただきました。

いつでも、どこでも、だれで

も、生涯にわたって自己の能力

を高めていける体制づくりを、

行政も町民も一体になって考え、

進めていきたいものです。

「みどりの学校」で一日を楽しむ

八月二十三日、ナカゴグリーンパークで、「緑の学校」が開かれました。

これは、町と小千谷林業事務所、PTAが企画したもので、こととして二回

目。自然に親しむ機会の少ない児童と

その保護者を対象にして、自然の中での

学習観察とレクリエーションの機会

を与えることが目的とされています。

今回の「学校」には、町内小学校四年

年生児童と父兄ら二六〇人ほどが参加

。×クイズや豚汁づくり、ゲームをし

て、楽しい一日を過ごしました。



クイズで一喜一憂する参加者

少年の主張

郡市大会

八月二十一日、十日町市民会

館で、第十二回新潟県少年の主

張十日町・中魚沼地区大会が開

かれました。

これは、郡市内の中学生が、

日ごろ考えている清新かつ建設

的な意見をおして、地区内の

住民がその健全育成に理解を深



優秀賞に輝いた星名さんの発表

めることを目的に開催するもの。

発表は、各中学校の代表十人。

川西中からは、星名恵美子さん

(三年・発電所通り西)が「も

うひとつの家族」と題して発表

し、優秀賞に輝きました。

廃村25周年を記念して

記念碑を建立

八月十六日、昭和四十二年に
 挙家離村で廃村となった旧田代
 集落で、廃村二十五周年を記念
 した記念碑が建立され、その除
 幕と開眼供養がありました。
 旧田代は、およそ万治・寛文



記念碑に線香などをあげる
 元住民

年間（一六五八―一六七三）に
 中島兄弟（名前はいろいろの説
 があるようです）二人によって
 開拓されたといえられており、
 大正末期から昭和初期には最高
 十戸、六十人を数えました。し
 かし、昭和二十年代から四十一年
 にかけて離村が続く、四十一年
 には一軒だけ残して四軒が離
 村。このとき、三百有余年続い
 た「田代」は、廃村やむなきと
 なりました。

当日は、はるばる関東方面から
 駆け付けた元住民たちを含む
 五十人ほどが、記念碑の除幕と
 開眼供養に参列し、合わせて先祖
 の霊も吊っていました。

記念碑は、中島忠一さん、中
 島徳栄さん、中島勝志さんら、
 有志五人が建立実行委員会を組
 織して上野小学校冬季分校跡地に
 建立したもので、建立実行委
 員会では、「ここに田代があつ
 たということ、大勢の人たちが
 ここで苦勞を続けてきたこと、
 そのお骨折りの上に現在の私た
 ちがあるのだということ、こ
 の機会に思ってもらえるならあ
 りがたい」と、語っていました。

イカダを作って川くだり

「仙田郷子ども村」



イカダで川くだりするのは全員初めてです

八月九日、燕市で開催された「第四十三回新潟
 県消防大会ボクシング競技会」に、消防団第一
 分団（山野田）チームが出場しました。

当日は、台風による激しい風雨にみまわれ、コ
 ンディションは最悪。団員は水びたしとなったグ
 ラウンドで、これまで積んできた練習の成果を力
 強く披露し、五位と大健闘しました。

連日家庭を犠牲にし、この大会に燃えた選手の
 皆さんやそれを支えた所属の団員、また、指導に
 あたった消防団幹部、消防川西分遣所の職員、大
 変ご苦労様でした。



風雨に敗けず頑張る選手

七月二十六日から三十一日ま
 での六日間、仙田地区で仙田郷
 子ども村が開設されました。
 これは、町山村留学実委員会
 会（高橋幸一会長）が主体とな
 って進めたもので、こととして三
 回目。都会の児童と交流を深め
 自然の中での自立生活や、農家
 の生活体験をすることなどを主
 なねらいとしています。

今回は、県外（東京・神奈川・
 埼玉・千葉など）から十七人、
 県内（新潟・長岡など）から十
 一人、地元仙田小学校から十二
 人、計四十人が参加しました。
 初めて参加した人、継続して
 参加した人、「参加してよかった。
 楽しかった。」という感想が
 多く聞けました。関係者の皆さん、
 本当にお疲れ様でした。

校 結果

8月7日
千手小学校プール
*は大会新記録

【女子】

5年200メートルメドレーR

- ①橋 (池竹祐子、大久保麻紀、田中美奈子、野沢佳代)
- ②千手A (高橋美香、清水貴子、春日あゆみ、平野理恵)
- ③上野 (村山祐子、高橋理恵、桐生かおり、水品早絵)

6年同

- ①仙田 (庭野紀子、小林優、長谷川美幸、樋口裕美)
- ②千手A (小林真由美、星名泉、高橋久美子、保坂優海)
- ③橋 (須藤輝美、水落亜耶、山中藍、田中千秋)

5年100メートル自由形

- ①小林美喜(仙田)②片桐清香(同)③金子早苗(同)

6年同

- ①樋口裕美(仙田)②保坂優海(千手)③佐藤由梨(上野)

5年100メートル平泳ぎ

- ①池竹祐子(橋)②高橋理恵(上野)③清水孝子(千手)

6年同

- ①清水彩子(上野)②小林優(仙田)③水落亜耶(橋)

5年100メートル個人メドレー

- ①田中美奈子(橋)②春日あゆみ(千手)③高橋理恵(上野)

6年同

- ①清水彩子(上野)②樋口裕美(仙田)③田中藍(橋)

5年25メートルバタフライ

- ①田中恵梨香(白倉)②小野塚美紀(千手)③井上冴子(同)

6年同

- ①長谷川美幸(仙田)②高橋るみ(千手)③高橋久美子(同)

5年50メートル自由形

- ①金子早苗(仙田)②平野理恵(千手)③野沢佳代(橋)



ひとかきひとかき1秒でも早く

6年同

- ①保坂優海(千手)②佐藤由梨(上野)③庭野紀子(仙田)

5年50メートル平泳ぎ

- ①池竹祐子(橋)②清水孝子(千手)③小海もも子(同)

6年同

- ①小林優(仙田)②星名泉(千手)③水落亜耶(橋)

5年50メートル背泳ぎ

- ①小林美喜(仙田)②若山祐子(上野)③高橋美香(千手)

6年同

- ①庭野紀子(仙田)②小林真由美(千手)③小林理恵(仙田)

5年50メートルバタフライ

- ①田中美奈子(橋)②春日あゆみ(千手)③片桐清香(仙田)

6年同

- ①長谷川美幸(仙田)②田中藍(橋)③高橋るみ(千手)

5年200メートルR

- ①橋(野沢佳代、大久保麻紀、池竹祐子、田中美奈子)

- ②千手A (高橋美香、井上冴子、春日あゆみ、平野理恵)

- ③上野 (高橋理恵、水品早絵、桐生かおり、村山祐子)

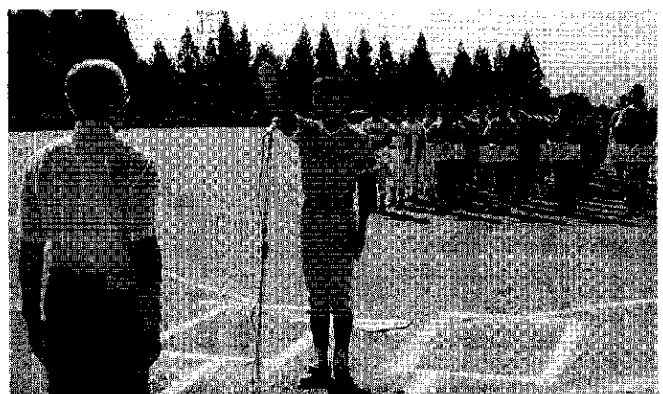
6年同

- ①仙田 (樋口裕美、小林優、小林理恵、長谷川美幸)

- ②上野A (高橋三代子、富井絵理、佐藤由梨、清水彩子)

- ③千手A (小林真由美、星名泉、高橋久美子、保坂優海)

⑩⑩ 甲子園に負けるな ⑩⑩ チビッコ球児大奮闘



力強く選手宣誓する田村潔君(千手タイガース)

八月十六日、庚塚運動場と千手小学校グラウンドで、町少年野球大会がありました。野球好きの少年たちが、チームプレーをとおしてお互いに思いやりと友情を深め、さらには平素の活動に意欲を持たせ、向上心を養おうと始めたこの大会も、今回で第二十二回目となります。

この大会には、Aブロック四チーム、Bブロック四チームが参加、それぞれ総当たり戦で実施されました。

当日は、厳しい暑さの中で、選手も応援の人たちも、暑さと戦いながら、試合に臨んでいました。Aブロックでは千手タイガースが、Bブロックでは千手ライオンズがそれぞれ優勝。Aブロック優勝チームには優勝旗と盾が、Bブロック優勝チームには盾が、それぞれ手渡されました。

【男子】

5年200メートルメドレーR

- *①千手A (吉楽拓哉、南雲昌裕、丸山英明、高橋俊博)
- ②仙田A (小林美喜㊟、丸山良亮、高橋涉、金子早苗㊟)
- ③千手B (柄沢秀範、鈴木健、松崎正、南雲基延)

6年同

- ①千手A (高橋智士、山岸大祐、斎藤保、田村潔)
- ②仙田 (高野将、高橋新、小林伸彦、小林宣昌)
- ③千手B (平沢克広、内山鉄兵、茂野進、柳昌光)

5年100メートル自由形

- *①高橋俊博(千手)②高橋涉(仙田)③登坂幸雄(同)

6年同

- ①田村潔(千手)②野沢貴宏(橘)③高橋理貴(同)

5年100メートル平泳ぎ

- ①南雲基延(千手)②今井拓朗(橘)③鈴木健(千手)

6年同

- ①秦野勝義(橘)②高橋新(仙田)③尾身尚也(千手)

5年100メートル個人メドレー

- *①丸山英明(千手)②南雲基延(同)

6年同

- ①高橋新(仙田)②田畑正樹(上野)③高橋智士(千手)

5年25メートルバタフライ

- *①松崎正(千手)②大海真彦(同)③水落信行(橘)

6年同

- ①斎藤保(千手)②茂野進(同)③小林伸彦(仙田)

5年50メートル自由形

- *①高橋俊博(千手)②登坂幸雄(仙田)③桐生和久(白倉)

6年同

- ①田村潔(千手)②野沢貴宏(橘)③柳昌光(千手)

5年50メートル平泳ぎ

- ①南雲昌裕(千手)②鈴木健(同)③今井拓朗(橘)

6年同

- ①秦野勝義(橘)②尾身尚也(千手)③山岸大祐(同)

5年50メートル背泳ぎ

- ①吉楽拓哉(千手)②藤原弘生(橘)③柄沢秀範(千手)

6年同

- ①平沢克広(千手)②高橋智士(同)③高野将(仙田)

第22回 町内小学 親善水泳大会

5年50メートルバタフライ

- ①丸山英明(千手)②高橋涉(仙田)

6年同

- ①斎藤保(千手)②茂野進(同)③小林伸彦(仙田)

5年200メートルR

- *①仙田A (高橋涉、片桐清香㊟、金子早苗㊟、小林美喜㊟)

- *②千手A (高橋俊博、南雲基延、吉楽拓哉、丸山英明)

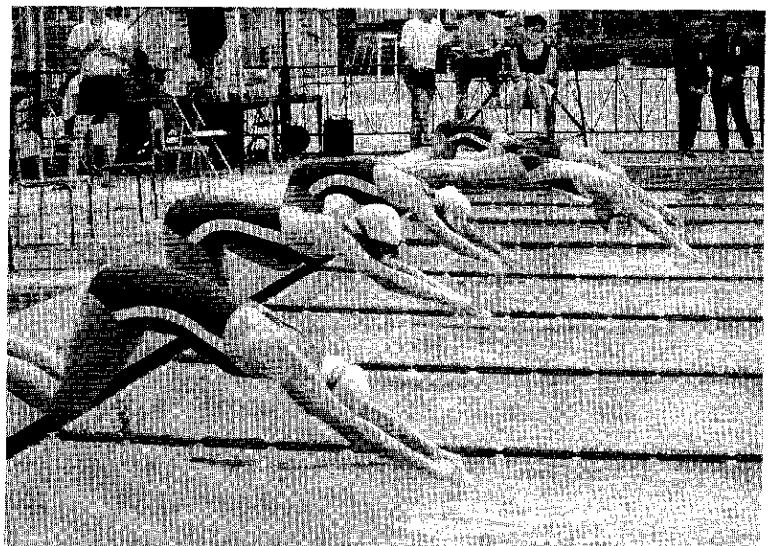
- ③橘 (山家隆二、今井拓朗、水落信行、藤原弘生)

6年同

- ①千手A (斎藤保、高橋智士、茂野進、田村潔)

- ②橘 (高橋理貴、戸田和樹、田口陽介、野沢貴宏)

- ③仙田 (小林伸彦、高橋新、高橋英宏、小林宣昌)



5年女子メドレーリレーのスタートのようす



どのコーナーにも多くの人が集り、にぎわっていました。

また、リサイクルバザーや珍しいライスヌードルの試食会などもありました。おたのしみ抽選会やちびっこパターゴルフなども繰り広げられました。どのコーナーにも多くの人でにぎわっており、ひとときを楽しんだようでした。

八月一日、総合センターと同駐車場で、第5回「青空市」が開かれました。これは、町、農協、商工会が主催し、特産グループや生活改善グループなど、各種グループが協力するもので、地域の消費者に町の農産品・特産品を紹介し、地元の需要拡大と関係団体の交流を深めることが目的です。

地元の消費者も大喜び
青空市

仙田村の学校問題②

岩瀬 金子 幸 作

赤岩の一村二校説

明治四十年五月一日の「赤岩校沿革史」に次の記載がある。

「多年希望セル高等小学ノ併置モ種々ノ事情ノ為常ニ延期セラレシ処、本年亦地元ニ於テ設備費ノ内五十円寄附ノ条件ヲ付シ、村会へ請願セシガ白倉校、中仙田区ヨリモ同一ノ請願ヲ出セリ。斯クテハ到底忍ビ得ザレバ、種々談合ノ末遂ニ……」

高等科児童がどこよりも多い赤岩校区は、一村二校の高等小



明治期の赤岩校

学で村の均衡が保てることを理由に、①仙田校の高等小学は現状維持として中仙田以南の児童を収容する ②赤岩校に高等小学を併置して赤谷以北の児童を収容する、ことを訴えていた。

室島区は、仙田校の高等小学を存置したい一心からこの赤岩の言い分に反論しなかったが、中仙田側は、「赤岩は背信行為だ」と区をあげて反ばつた。

校区の対立は深く

中仙田区から「仙田校の高等科を村の中央に」と声があがった時、この呼びかけにいち早く応じたのは、越ヶ沢も通学区域に含まれる山戸校区であった。

赤岩校区と白倉校区も当初は中仙田側に同調したかにみえたが、内心は、自分たちの学校にこそ高等小学を併置したいと強く願っていたようである。大正期に入ると、紛争の長期化につれて各校区の利害得失があらわになり、中仙田と手を結んだ白倉校区と、この同盟に激怒した赤岩校区の間に宿命的な溝ができて深まる。

(白倉校「むらの記録」より転載)



岩瀬・赤谷村落民にいじめられる (絵・富永)

通学の児童に投石

高等科併置をめぐる紛争が激化する中で、仙田校に通う児童も敵と味方に分かれて反目し、ときにはいじめに発展する不幸な事態にもなった。

白倉校の百周年記念誌「むらの記録」は、悲しい挿絵まで残して、荒れに荒れた当時の有様を次のように記している。

明治末より大正にかけての仙田村の学校教育を語る時、高等科設置に端を発する部落間の反目をあげずにはいられない。

教育問題の乱れは、直ちに子どもたちの学校生活の上に影響を及ぼした。白倉に高等科併置の声があがるや、仙田校(室島)への登下校に赤岩・岩瀬の子どもから、また、部落民からも投石等による迫害を受け、部落内の通行も危険であつたという。

高等科の設置につき、会合を重ねれば重ねるだけに、溝が深められ、争いは益々たかまりをみせた。激怒する反対区民の害を恐れ、村会議員は警察官護衛付きで帰宅する有様であつた。

赤岩校区民が激昂

この時代の動きを、「仙田村学校問題沿革」は次のようにまとめている。

大正七年二月ノ通常村会ニ於テ、遂年増加スル高等科児童ヲ仙田校ニ全員収容スルコトノ困難ヲ感シ、赤岩校ニ併置シテ緩和セント村長中条庄吉提案ス。其際、中仙田校及白倉校ニモ併置説出、紛糾シ、纏ラズ。

七年五月、臨時村会ニ於テ白倉校ニ併置ノ件ヲ可決、六月一日ヨリ同校ニ併置ノ件認可セララル。然レ共、最モ多数ノ高等小学就学児童ヲ有スル赤岩校区域民首肯セズ、遂ニ中仙田校区域民ト對抗スルコトナリ、数十回ノ会合ヲ重ネシカド解決スルニ至ラズ、其間当時ノ郡長殿及ビ郡視学殿ノ出張ヲ煩ハス。

高等科を三校に併置

大正八年十一月、時ノ郡長江川民三郎殿及ビ樋口郡視学殿ノ来村ヲ乞ヒ、村内各階級者ニ面接調停ノ結果、赤岩校ニ高等小

学、中仙田校ニ農業補習学校ヲ併置スベキ妥協案ヲ提出サレ、本案ニ依リ該問題モ円満ニ解決ヲ告グ。依テ九年四月一日ヨリ仙田、赤岩、白倉ノ三ヶ校ニ高等小学ヲ、中仙田校ニ農業補習学校ヲ開校スルコトナレリ。

中条村長が辞職

大正九年十二月廿一日、臨時村会ニ於テ仙田校、中仙田校ノ両校ヲ同一ノ設計ニテ同時ニ改築スルコトナル。時ノ村長中条庄吉氏当時ノ村会ノ決議ニ依ル学校改築ニ関スル設計ヲ申請セシメ、村財政窮乏下ノ建築ヲ憂フ村民ノ有志等強ク反対シ、中条村長は引責辞職セラル。

室島の高橋惣治さんは、もめた村を次のように回想する。

仙田校と中仙田校の改築は、両校とも校舎が、階建て十九間の五間一尺(約二・八平方尺)、廊下が七尺で、これに小使室と便所が付いた同一の設計だった。ところが、高倉と白倉校区がこの同時改築に強く反対し、田戸校区民の一部も同調して村民大会を開く騒ぎに発展した。

中仙田区からは「室島の学校が大きすぎる、同一規模だと、将来、仙田校を中仙田校に統合するのが至難になる」という予想もしない異議が出た。



「秋まつり」には、もみじの大木を引っ張ります。水をかけあうことでも知られているまつりです（8.30 小白倉）



夜店や地踊りで、大変にぎわった諏訪まつり（9.2 原田）

ザ！夏行事

— カメラルポ —



毎年恒例の若い衆による手づくり劇。大会のメインです（8.14 赤谷）

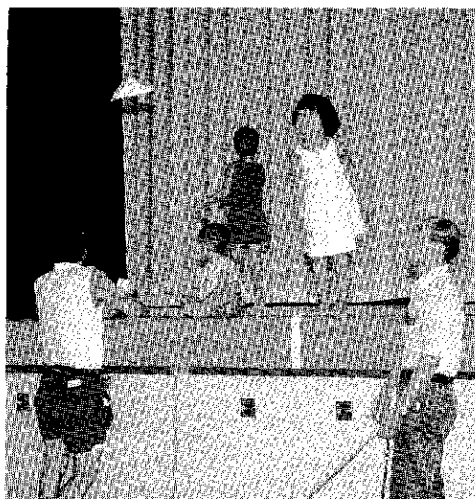


地区体育振興会が中心になってレクリエーション大会を開きました（8.23 千手地区）



青年会がみこしを繰り出して、諏訪神社まつりを盛り上げました（8.26 上野）

大人から子供まで、一緒に楽しく紙飛行機大会（8.30 総合体育館）



郷土の伝統芸能を披露。保存伝承にも努める。町芸能大会が仙田地区で行われました（8.30 仙田小）

図書室 だより

話題の新刊書紹介

○わたしたちの地球を守ろう
全八巻不敬一郎監修偕成社

酸性雨、オゾン層破壊、地球温暖化、放射性廃棄物、大気汚染、海洋汚染、砂漠化、熱帯雨林の破壊など、地球はいま重大な危機をむかえています。その現状を豊富なカラー写真で紹介しています。そして、いまわたしたちは何をなさねばならないかを、このシリーズは問いかけています。

①野生動物を保護しよう
毎年六千種以上の生物が地球

から消滅しているそう。

②熱帯雨林を救おう

世界じゅうの熱帯雨林が、いまはげしい破壊の危機にある。

③砂漠化から地球を守ろう

地球の三分の一以上が砂漠化の危機に直面している。

④地球の海を救おう

海がいま、人間がつくりだした廃棄物に汚染されている。

⑤地球の大気を守ろう

大気を汚染する化石燃料が地球の温暖化をもたらしている。

⑥酸性雨から地球を守ろう

酸性雨が樹木を枯らし川や湖の魚の繁殖をさまたげている。

⑦ゴミとリサイクル

地球の生命をおびやかす産業廃棄物はどう処理するか。

⑧農業と環境問題

農業は地球環境を汚染し、人体にも害を与えている。

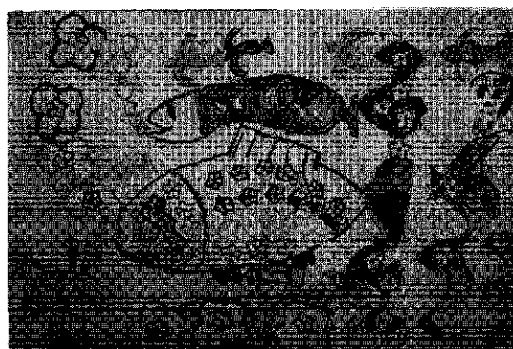
入所者たちが奉仕活動

八月五日、精神薄弱者更生施設「なかまの家」の入所者と、高校生ボランティアを含むおよそ三十人が、ナカゴ芝生広場で草取りの奉仕活動を実施しました。

これは、「なかまの家」が毎年実施している道路清掃などの奉仕活動の一環として範囲を広げたもの。今回は、「なかまの家」の近所にあたる、ナカゴグリーンパークでお役に立てればと、草取りを実施する運びとなりました。



暑くても一生懸命頑張りました



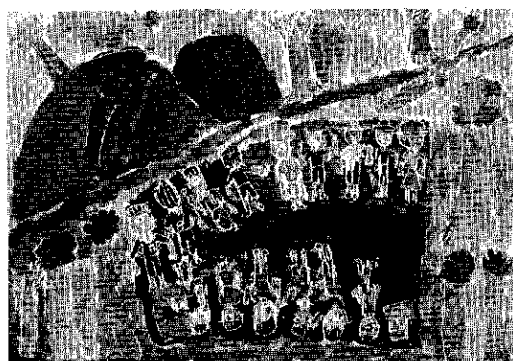
1年 渡貴紀子さん



5年 高橋理恵さん



2年 小林祐樹君



3年 清水恵子さん



6年 星名淳二君

ちいさな展覧会

50

上野小学校

(10月号は橘小学校です)

善 意

(敬称略)

一般寄附

小林 孝 寿 (中島町) 5万円
老人福祉に
野 沢 六 郎 (野 口) 2万円
広報発行に
匿名希望 (東久留米市) 1万円

新診療所の名称決まる

8月24日に締め切った新しい診療所の名称募集に、61点の応募がありました。26日、その審査会が実施され、星名一弘さん(沖立)の作品が入賞。また、土田ミツさん(葛飾区)ほか2人の作品が佳作と決まりました。新しい診療所の名称は『川西町国民健康保険診療所 クリニック川西』です。



休日救急医

9月13日 山口医院(袋 町) ☎52-2174
15日 至誠堂医院(西浦町) ☎52-3276
20日 中条病院(中 条) ☎57-3018
23日 大熊内科医院(山本町) ☎52-7066
27日 富田医院(神明町) ☎52-3269
10月4日 第二藤巻医院(上 野) ☎68-2018
10日 大島医院(川原町) ☎52-2957
11日 山口医院(下 条) ☎55-2003

一打に集中。力が入ります



32チームで熱戦 赤谷睦会Aが優勝

八月四日、庚塚運動場で、第十七回町ゲートボール大会が開かれました。

この大会には三十二チームが参加。まず、八コートに分かれて予選リーグを行い、各コートの一位八チームが決勝トーナメント戦に臨みました。予選も決勝も、どの試合も白熱しており、一打を打つごとに、監督の指示や大きな声援が飛んでいました。結果は、次のとおりです。

優勝 赤谷睦会A
二位 白倉口睦会A
三位 仁田老友会
四位 赤谷睦会B

国民健康保険者証の更新に伴い、記載事項の誤りなどを見つけたらご連絡を

9月1日から、国民健康保険者証が更新されました。

これに伴い、「記載事項の誤り」や「保険証に記載してある方が社会保険に加入した場合」などには連絡をお願いします。

【連絡先】役場保健係

☎ 68-3111

有線 2122、2132

高齢者交通安全旬間

期間 9月11日(金)～9月20日(日)

大切な
我が身を守る
交通ルール

秋の全国交通安全運動

期間 9月21日(月)～9月30日(水)

秋の道
ゆずる気持ちと
待つゆとり



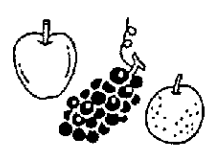
戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

高橋 未^み米^き 孝^{きょう}子^こ 長女^{ちやうにょ}鶴^{つる} 吉^{きち}

橘^{たちばな} 綾^{あや}香^か ヒロ子^{ひろこ} 長女^{ちやうにょ}栄^{えい} 町^{まち}

五^い山^{さん}み^みま^ま 寿^す子^こ 二女^{ににょ}沖^{おき} 立^{たち}



かわい
俳壇
太田白南風選

つかと来て踊り輪に入る男かな
野口 野沢 寅生

川釣りの人の大きな夏帽子
上野 内山 寛平

残暑なお牧場の牛の動かさる
岩瀬 小川 益栄

初秋やもの影のいる深まりつ
中仙田 高野仙蒼子

めぐり来て社の涼し夏木立
霜条 星名 星光

盆の月上げて踊りの輪をかさね
岩瀬 登坂伊智子

幾重にも入道雲の湧き上る
大倉 中条 石平

丸ごとの秋茄子含め煮客を待つ
野口 村越 由喜

出穂もよし朝な夕な水廻り
新町 若山 向山

百合、輪残して土手の草を刈り
八王子市 松浦 サク
クーラーを嫌ひ西日に耐へにけり
上町 高橋 頼似

昇天—ごめい福を祈る

人沢 健太^{けんた} 克^{かつ}之^の 長男^{ちやうなん}上^{のう} 野^の

星野 美樹^{みき} 克^{かつ}美^み 長女^{ちやうにょ}野^の 口^{くち}

星名 千穂^{ちほ} 和^わ子^こ 弘^{ひろ} 長女^{ちやうにょ}沖^{おき} 立^{たち}

南雲 陽介^{ようけい} 守^{しゅ} 啓^{けい} 二男^{ににん}中屋敷^{なかつしき}

小海 南^{みなみ} 利^り 信^{のぶ} 長女^{ちやうにょ}小根岸^{こねがし}

元町 金子 鉄平

台風の過ぎし墓参や雨となる
野口 五十嵐トラ

静けさや障子の部屋にひとり居て
野口 野沢 静江

もろこしの葉のさやさと秋めける
山野田 藤田ひろ志

音も冴えてスイッチ鳴きぬ小さき庭
綾瀬市 野沢ますえ

秋茄子のあふれるほどこにかごの中
四郎兼 平野 恵春

風鈴の音にうたた寝起される
木落 丸山 詩朗

秋草はどの花兒でも淋しかり
練馬区 須藤 遊人

夏瘦や妻の好みのゆうこ汁
足立区 駒形 頼太

来客を送る庭先虫の声
小白倉 田中 優美

盆客の去りたる村の静まり
上野 渡辺 朝

笠一つ身の置き処炎天下
高倉 斎木 和人

地区毎に揃いの浴衣盆踊
伊勢原市 金子 桂吉
手花火や火薬の煙り庭に満つ
小白倉 江口みゆき
蟬しぐれしばしば我を忘れけり
仁田 小幡しん女

「こんにちは 食生活改善推進委員です」

今回は、「町食生活改善推進委員協議会」を紹介いたします。医学の進歩や経済の成長に伴い、死亡率の低下や平均寿命の伸びがもたらされています。一方で、生活習慣や社会構造の変化により成人病が増加し、過食傾向による肥満、無理な節食による貧血なども増え、新たな健康問題が生じています。

そのような状況の中で、やはり「自分たちの健康は自分たちの手で」と、協議会では十日町保健所で開催される栄養教室を十カ月間受講し、食生活を中心に健康づくりの基本を勉強して

います。現在、会員数三千九人、子育ても終わり、第二の青春真っ盛りの方から、子育て奮闘中の方まで様々な立場の、しかもみな一家の台所をあずかる主婦です。ことしの会の活動目標を、①会員自ら健康づくりに取り組もう、②地域の生活実態を知ろう、と

しています。先般実施された健康づくり大会では、五百戸余りの方から「協力いただき、「町内みそ汁塩分マップ」を作成しました。この結果を基に、十時半には、各地域で開かれる調理講習会におじゃまさせていただきます。そのほか、乳幼児健診での離乳食・手づくりおやつ普及、住民健診での一日必要食事量の説明などを行っています。

会員一人ひとりが健康で楽しく参加できる会にと、これからさらに活動を広げていきたいと思っています。



塩分測定も自らの手で